

2012年度 地域プロジェクト発表祭

永山活性化プロジェクト

多摩大学 経営情報学部
酒井麻衣子ゼミナール

目次

○ 本日の目的	-3
○ 酒井ゼミの紹介	-4
○ ヒューマックスパビリオンの紹介	-5
○ 本プロジェクトの背景	-6
○ プロジェクト概要	-7
○ 全6テーマ	-8～15
○ 今後のスケジュール	-16

2

本日の目的

- プロジェクト概要の説明
- 途中経過の報告
- 今後のスケジュール

酒井ゼミが半年間取り組んできた
永山プロジェクトの内容のご紹介

3

酒井ゼミの紹介

○ マーケティング・データ分析ゼミ

アンケート調査やヒアリング調査を行い、客観的なデータを収集し、統計解析ソフトSPSSなどを用いて分析した結果をもとに、有効なマーケティング施策を提案する。

- 企業との共同研究をプロジェクト形式で行う
- 論理的思考やビジネススキルを習得

マーケティングデータ分析を学び、活かす
実践的なゼミ

4

ヒューマックスパビリオンの紹介

- ヒューマックスグループの
ジョイパックレジャー株式会社が
運営する複合型娯楽施設。

- ボウリング
- パチンコ
- 温浴施設
- ゲームセンター など



ヒューマックスパビリオン永山

大人から子供まで楽しめる
場の提供をしている

5

本プロジェクトの背景

- ジョイパックレジャー様が、所有する永山の空き店舗スペースの有効活用を検討。
- 近隣の大学等との連携により、地域貢献につながる利用方法を模索したいというご要望。



- 本格的な連携に先立ち、有効活用法の検討にあたって、永山地域や永山利用者に関する基礎調査が必要となるため、酒井ゼミが調査を担当。

地域貢献・地域活性化につながる、
基礎的な情報収集のための調査を実施

6

永山プロジェクトの概要

研究
目的

地域貢献・地域活性化を目的とした
永山に関する基礎的な情報収集

STEP1

- ・ 9月～現状把握と課題の洗い出し
- ・ 11月 キックオフ説明会、研究計画書の提出

STEP2

- ・ 12～1月 調査、フィールドワーク等
- ・ 2月 調査結果まとめ

STEP3

- ・ 2月12日 地域PJ発表祭にて経過報告
- ・ 2月19日 成果報告会

7

全6テーマ

【まちの基礎力・ニーズの把握】

- テーマ①: 永山駅周辺の通行量調査
- テーマ②: 永山周辺住民・永山利用者のニーズ把握

【まちの主利用者層の理解】

- テーマ③: 若者のライフスタイル・消費動向の把握
- テーマ④: 高齢者のライフスタイル・消費動向の把握

【既存店舗の現状把握】

- テーマ⑤: 既存店舗(竹取の湯)の現状把握・課題発見
- テーマ⑥: 既存店舗(コバボウル)の現状把握・課題発見

今後の具体的な施策の検討に役立つ情報を
さまざまな角度から収集・分析

8

テーマ①: 永山駅周辺の通行量調査

永山駅周辺(7箇所)、およびヒューマックスパビリオン永山の
各店舗(2箇所)の人の流れの把握

○ 調査方法

- ・ 永山周辺の複数個所に調査員が立ち、
数取り機で通行者数をカウント。
- ・ 通行者の属性(性別2区分および学生・
社会人・シニアの3区分の計6区分)を記録。
- ・ 平日・休日のそれぞれ5つの時間帯(8-9、
11-12、15-16、18-19、20-21時)を調査。



永山周辺にどの程度、どのような人の流れがあるのかを
調査し、まちとしての基礎力を把握する

9

テーマ②: 永山周辺住民・永山利用者のニーズ把握

永山駅周辺で街頭調査を実施

○ 調査対象

- ・ 10代以上の男女
- ・ 目標数160(学生40、主婦40、社会人40、シニア40)

○ 調査内容

- ・ 衣服等の購入方法
- ・ 永山周辺での利用する施設
- ・ ヒューマックスパビリオンの認知度、利用率
- ・ 余暇時間の使い方
- ・ レジャー施設の妥当だと考える金額
- ・ 永山に求めていること 等

永山利用者のニーズを把握し、
永山活性化の施策提案につなげる

10

テーマ③: 若者のライフスタイル・消費動向の把握

若者(大学生)にアンケート調査実施

○ 調査対象

- ・ 多摩大学生および他大学生
- ・ 目標数200

○ 調査内容

- ・ 生活満足度
- ・ 余暇活動、時間
- ・ 大学生生活の重視している点
- ・ アルバイト代と日数
- ・ 月の平均支出額
- ・ 買い物の際重視している点 等

永山の主利用者である
若者の価値観と満足度の要因を把握し、
永山活性化の施策提案につなげる

11

テーマ④: 高齢者のライフスタイル・消費動向の把握

永山駅周辺でシニア層に対象に街頭調査を実施

○ 調査対象

- ・ 60代以上の男女
- ・ 目標数150

○ 調査内容

- ・ 余暇時活動、時間
- ・ 衣服等の購入方法
- ・ 地域コミュニティの参加有無
- ・ 家族構成 等

永山の主利用者である
シニアの価値観や生活実態を把握し、
シニアに関する2次データとの比較も行いつつ、
永山活性化の施策提案につなげる

12

テーマ⑤: 既存店舗(竹取の湯)の現状把握・課題発見

背景

キックオフ説明会

「竹取の湯」のメインターゲットはシニア層

2次データ

- ・多摩市における高齢者の割合は高い
- ・岩盤浴は高齢者にとって有効である
- ・他者との関わりが少ない高齢者の増加

目的

新たな健康法として岩盤浴の認知度を向上を図る。

新規顧客の開拓

地域に根付く温浴施設へ

無縁社会の問題解決

13

シニア層を対象にアンケート調査およびヒアリング調査を実施

○ 調査対象

- ・ 永山駅周辺利用者 (60代以上の男女)
- ・ 「竹取の湯」利用者 (60代以上女性)

○ 調査内容

- ・ 竹取の利用実態について(利用の有無、利用頻度)
- ・ 健康に対する意識 (あなたにとって健康とは、健康への配慮について)
- ・ 地域の活動団体について(活動団体への所属有無、関心について)
- ・ ライフスタイルについて(入浴への意識など) 等

シニアの温浴施設への実態、地域活動団体への関心、ライフスタイル等を明らかにし、既存店舗の一つとして永山活性化につながる施策提案を行う

14

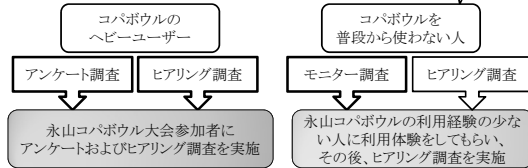
テーマ⑥: 既存店舗(コバボウル)の現状把握・課題発見

永山コバボウル: 多摩市唯一のボウリング場

しかし事前に実施したフィールドワークでは空きレーンが目立つ

現在の集客に改善の余地がある

○ 調査対象と調査方法



ボウリング場の利用状況やニーズを調査し、どの程度コバボウルが応えられているか調査・検証することで、既存店舗の一つとして永山活性化につながる施策提案を行う

15

NEXT

○ 今後のスケジュール

各テーマについて収集データの分析や2次データとの比較を行い、成果報告に向けて結果をまとめ、施策を検討する。

【永山活性化プロジェクト成果報告会】

日時: 2013年2月19日(火)

場所: ジョイバックレジャー株式会社様 恵比寿本社

内容: 全6テーマの調査内容と分析結果の報告

16

ご清聴ありがとうございました

17